

# ウラポール

裏 rapport × vol.9

知られざる先生のウラの顔をご紹介します!

今回ご紹介するのは  
放射線技術科学科 高木 先生



今回は研究助成を受けている先生に研究についてお伺いしました!

研究助成とは、大学の先生たちが新しい研究に取り組むために、国や自治体、企業などから受ける「研究のための支援(お金)」のことです。実験や調査、機材の使用など、研究には多くの費用がかかるため、研究助成は「やってみたい研究」を実現する大切な支えとなっています。

### Q どんな研究をしていますか?

X線動画の撮影枚数を半分に減らしても、画像処理によって失われたコマを復元し、被ばく量を半減させながら診断に必要な画質を保つ技術を開発しています。

### Q 研究助成をもらって、何ができるようになったの?

高度な画像復元処理に必要な高性能パソコンを導入でき、研究を計画通り進行することができました。

### Q なぜ、研究をしているのですか?

滑らかな動画撮影と被ばく低減という相反する課題を同時に解決し、より安全で質の高いX線検査を実現したいからです。

### Q 研究していて、大変なこと・面白いことは?

大変なことは骨の細かい構造を崩さずに復元すること、計算時間の短縮です。面白いことは、画像処理の工夫によって高画質と低被ばくの両立が実際に達成できた瞬間です。

### Q その研究は、わたしたちの生活とどうつながっているの?

X線検査の被ばく量を減らすことができます。特に放射線の影響を受けやすい子供や、繰り返し検査が必要な患者さんの安全性向上につながります。

### Q 先生は、いつ研究に興味を持ちましたか?

大学4年生の卒業研究で心臓ファントムを自作したときです。何もないところから新しい仕組みを生み出す研究の面白さに深く感動しました。

## 純真学園大学 同窓会 設立のご挨拶

純真学園大学同窓会 会長 川端 唯斗 (医療工学科2期生)

このたび、純真学園大学同窓会が正式に発足いたしました。本学は2011年の開学以来、数多くの優秀な医療人を社会へ送り出してきました。卒業生がそれぞれの専門分野で活躍する今、改めて「縦と横のつながり」を強固にする場が必要であると考え、本会を設立する運びとなりました。

卒業生、在学生、そして教職員の皆様とともに、純真学園大学の新たな歴史と、医療の未来を築いていくことを心より楽しみにしております。皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## EVENT INFO

### 12/6(土) OPEN CAMPUS REPORT

2025年度最後のオープンキャンパスでは、学友会学生による企画「キャンパスの先輩、召喚してみた」と学生生活ポスター展示を行いました。在学生との交流で、授業や大学生生活のリアルな声を聞き、大学生活の魅力を知る貴重な時間となりました。

### 学友会企画

#### 看護学科



#### 参加者の声

体験などもたくさんできてもっと興味を持つことができたので参加してよかったです!

#### 放射線技術科学科



#### 参加者の声

施設も充実していて、先生方や在学生の方々も温かく、雰囲気がとても良かったです。

#### 検査科学科



#### 参加者の声

学生の方からたくさんお話をきいて、とてもいい大学だと思いました。笑顔で対応して下さいとても嬉しかったです。

#### 医療工学科



2026年度オープンキャンパス日程 5/16(土)・7/12(日)・8/8(土)・12/5(土) ※詳細は事前にHPにてご確認ください



## 純真学園大学 純真学園大学大学院

看護学科・放射線技術科学科・検査科学科・医療工学科

資料請求・お問い合わせ先

TEL. 092-554-1255(代)

〒815-8510 福岡市南区筑紫丘1-1-1 FAX.092-552-2707

純真学園大学  
公式HP



LINEアカウント  
イベントのお知らせ、  
大学の様子など、  
さまざまな情報  
をお届けします。



本学は公益財団法人日本高等教育評価機構による平成25年度第三者評価の結果、選別と認定されました。

URL <https://www.junshin-u.ac.jp>

E-mail [daigaku-info@junshin-u.ac.jp](mailto:daigaku-info@junshin-u.ac.jp)

rappart

純真学園大学  
だより

ラポール 09

【2026年2月発行】純真学園大学 〒815-8510 福岡市南区筑紫丘1-1-1  
●編集 純真学園大学広報委員会  
「ラポール」とはフランス語で信頼や親密を表す言葉です。

Junshin Gakuen University 2026 winter

# rappart

純真学園大学だより  
ラポール



## 4学科で学ぶ チーム医療の第一歩



4学科が同じキャンパスで学ぶ環境だからこそ、早くからチーム医療の力を育むインタープロフェッショナル教育(IPE)。1年次後期には「医療連携の基礎」で、他学科の実習・演習を体験しながら職種の違いや役割を知ることができます。4年次には「総合チーム医療」で多職種連携を実践し、現場で活躍できるスキルを身につけます。

### インタープロフェッショナル教育(IPE) 授業の様子をHPにて紹介中



1年次IPE科目  
「医療連携の基礎」  
についてご紹介します



4年次IPE科目  
「総合チーム医療」が  
終了しました

## CONTENTS

本学卒業の教員から未来の医療人へメッセージ  
ウラポール 放射線技術科学科 高木先生  
純真学園大学同窓会設立のご挨拶  
オープンキャンパスレポート

# 特集

## 本学卒業の教員から 未来の医療人へのメッセージ

本学での学びが、「将来どのように役に立つのか」そのために、「いま、何をすべきか」についてインタビューしました！

片山陸先生  
(第2期生)

看護学科

Q1 在学中、1番印象に残っている授業・演習・実習は何ですか？

2年次に開講される基礎看護学実習IIです。この実習で初めて「看護過程の展開」を行い、受け持ち患者様の問題解決に向けた看護を実践しました。そこで、実習指導者の助言を受け、自身の看護が“患者のニーズを捉えた看護”ではなく、“自分がしたい看護”になっていることに気がきました。この経験は、患者様を起点に看護を考える大切さを学ぶきっかけとなり、その後の実習や臨床での看護実践の基盤となりました。



Q2 大学生生活の1番の思い出は何ですか？(勉強以外)

一番を選ぶことは難しいですが、学友たちと過ごした日々が何よりの思い出です。特にイベント時は全員が全力で取り組み、看護学科学年全体に一体感がありました。国家試験目前の12月、思い出作りと国家試験合格に向けた決意を新たにするため、ナース服姿で集合写真を撮ることを提案しました。寒い中でも皆が賛成してくれ、正門前で撮影したその瞬間は、心が一つになった忘れられない思い出です。

Q3 本学卒業後、最初の就職先・業務内容を教えてください。

北里大学病院(神奈川県)の総合集中治療室(GICU:General Intensive Care Unit)に勤務しました。主に外科では術後の重症患者様、内科では敗血症や心不全などの重症患者様を担当しました。全身状態の継続的な観察による異常の早期発見・早期対応・予防的介入、救命主軸の中でもその人らしさを汲み取った看護や療養環境の調整、多職種連携、患者・家族への説明や精神的支援など、超急性期医療の最前線で看護実践に取り組みました。

Q4 現場で活躍する中で、本学で学んだことが役立ったエピソードを教えてください。

本学で学んだチーム医療の視点は、GICUでの多職種カンファレンスで活きたと実感しました。入職当初は、多職種のやり取りについていけず、発言をためらうこともありましたが、しかし学生時代に学んだ各職種の役割や専門性を思い出し、看護師の視点で気づいた患者様の変化を言葉にして共有することを意識しました。その一言がきっかけとなり、医療チームのアプローチが変わった経験は、患者様の最も近くにいる看護師としての自信につながりました。

Q5 これから医療職を目指す高校生に、いま、頑張してほしいことは何ですか？

医療職を目指す今の時期には、進路実現に向けた勉強はもちろんのこと、人の話をよく聞き、相手の立場を考え行動する経験を大切にしてください。医療は病める人に寄り添い支える仕事であり、相手を理解しようとする姿勢が重要です。そのため、知識や技術と同じくらい人間性が求められます。日常で出会う多くの方々との関わりの中での気づきや経験が、将来患者様と向き合う力になります。

Q6 いま、医療職を目指して頑張っている後輩に、いまやっておいたほうが良いことを伝えてください。

講義や実習の中で「なぜそうなのか」を意識して学ぶ姿勢を大切にしてください。知識を身に付けるためには、自分の言葉で説明できるようになる(言語化)ことが重要です。そうすることで知識が実践に結びつき、臨床での判断力も養われます。また、在学中は学友と多くの経験を共有し、関係性を深めてください。同じ医療職として卒業後も支え合える仲間、専門職として成長していく上で大きな力や刺激になります。

Q1 在学中、1番印象に残っている授業・演習・実習は何ですか？

初めて白衣を着て、X線撮影機器を使った学内実習が最も印象に残っています。中学生の頃から放射線技師に憧れていたため、実際に臨床で使用している機器を操作でき「診療放射線技師になるための勉強をしているんだ」という実感が湧いたとともに、これからさらに頑張ろうという大きなモチベーションにつながりました。

Q3 本学卒業後、最初の就職先・業務内容を教えてください。

検診業務も行っている療養型の医療機関に就職しました。一般撮影をはじめ、胃透視検査、CT、MRI、マンモグラフィ検査などの撮影業務に携わりました。特に乳がん検診に関わる機会が多く、ピンクリボン活動を通して予防医療の重要性を現場で実感しました。

Q6 いま、医療職を目指して頑張っている後輩に、いまやっておいたほうが良いことを伝えてください。

学生のうちから、与えられたことだけをこなすのではなく、自分で考えて行動する姿勢を大切にしてほしいと思います。分からないことを調べたり、積極的に質問したりする経験は、必ず臨床現場で役立ちます。受け身にならず、一つひとつの学びに意味を見いだしながら行動することが、自分自身の成長への近道となります。

Q2 大学生生活の1番の思い出は何ですか？(勉強以外)

学園祭で、友人や先輩と一緒に福島第一原発事故についてのポスター展示を行ったことです。準備は大変でしたが、協力して一つの形にできたことが良い思い出です。その後、みんなでスポッチャに行って朝まで過ごしたことも含め、大学生活ならではの忘れられない経験になりました。

Q4 現場で活躍する中で、本学で学んだことが役立ったエピソードを教えてください。

医療現場では多職種と連携して業務を行うため、在学中に学んだIPE(多職種連携教育)が非常に役立ちました。それぞれの職種での役割や考え方を理解していたことで、円滑なコミュニケーションにつながり、患者さんにとってより良い医療を提供する一助になったと感じています。



Q5 これから医療職を目指す高校生に、いま、頑張してほしいことは何ですか？

医療現場では、知識や技術だけでなく、思いやりや信頼関係がとて大切で、こうした姿勢は授業だけで身につくものではなく、日々の行動の積み重ねによって身につけていくものだと思います。あいさつや時間を守ること、分からないことをそのままにせず質問する姿勢を大切に、将来、患者さんや周囲から「この人なら任せられる」と思ってもらえる医療人を目指してほしいです。

Q1 在学中、1番印象に残っている授業・演習・実習は何ですか？

3~4年次に行われる実習はどれも印象深いですが、特に病院での「臨床実習」が記憶に残っています。学内で学んだ生命維持管理装置が、実際に患者さんの命を支えている現場を目の当たりにし、その責任の重さを肌で感じました。教科書上の知識が、現場での「生きた技術」へとつながる瞬間の高揚感は今でも忘れられません。この経験が、医療人としての自覚を持つ大きな転換点となりました。

Q2 大学生生活の1番の思い出は何ですか？(勉強以外)

サークル活動が一番の思い出です。二期生ということもあり、自分たちでゼロから新しいものを作り上げていく楽しさがありました。学科や学年の枠を超えて仲間と協力し、一つの目標に向かって準備した時間は、社会人となった今でもかけがえのない財産です。



川端唯斗先生  
(第2期生)  
医療工学科

Q3 本学卒業後、最初の就職先・業務内容を教えてください。

卒業後は広島大学病院に臨床工学技士として入職しました。同院では業務が3グループに分かれており、1年ごとのローテーションで幅広く経験を積みました。最初の配属は機器管理グループで、ME機器の保守管理、手術室業務、ペースメーカー業務に従事しました。治療に携わることもちろんですが、機器の準備や点検などの面からも患者さんの安全を守る役割を担うことができ、とてもやりがいのある業務でした。

Q4 現場で活躍する中で、本学で学んだことが役立ったエピソードを教えてください。

本学の特色である「多職種連携(IPE)」の視点が非常に役立っています。現場では他職種とのコミュニケーションが不可欠ですが、学生時代に他学科の学生と議論した経験があるため、相手の専門性を尊重した円滑な連携ができました。現在は教員として、この経験を活かし、より臨床に近い視点で学生への指導に取り組んでいます。

Q5 これから医療職を目指す高校生に、いま、頑張してほしいことは何ですか？

医療技術は日々進歩しますので、新しいことを積極的に取り入れてください。また、勉強以外にも「自分が夢中になれること」を見つけて全力で取り組んでください。多様な経験を通じて培われる豊かな人間性は、将来、患者さんやスタッフと信頼関係を築くための大きな力になります。

Q6 いま、医療職を目指して頑張っている後輩に、いまやっておいたほうが良いことを伝えてください。

国家試験対策はもちろん重要ですが、ぜひ「自ら疑問を持ち、追求する習慣」を身につけてください。現場では答えのない課題に直面することも多いですが、学生のうちに論理的に考える癖をつけておくことが、将来の役に立つはずです。また、同じ志を持つ仲間を大切にしてください。辛い時に励まし合える仲間の存在は、在学中だけでなく卒業後も一生の宝物になります。